

2026 年度第 2 回システム活性化部会 議事録

日時：2026 年 9 月 10 日 15:15～16:45

場所：レンタルスタジオ 5S（シャトー高輪 103 号）および WEB 会議の併用

出席者：石井理事長、宮脇副理事長、大野副理事長、青山副理事長、志々目理事、則松理事、
浦理事、宇佐見理事、桑本理事、坂本理事、堀井理事(WEB)、吉村理事、若林理事
日笠山監事、羽染監事
塩澤普及・啓発副委員長、千葉普及・啓発副委員長（WEB）、小竹主査、池田主査（WEB）、
額額国際副委員長（WEB）、副田国際副委員長（WEB）、古田資格認定副委員長（WEB）、
薦田最終処分場被災対応 TF リーダー（WEB）

欠席者：福島主査、下村受託 TF リーダー

配布資料：2026 年度 第 2 回 システム活性化部会議案書

1. 前回議事録について（議案書 p.2～4）

前回議事録は承認された。

2. 報告事項

2.1 最終処分場被災対応タスクフォース（議案書 p.5）

- ・対応するためには被災地の処分場現場と繋がるルートづくりが必須である。

2.2 運営委員会（議案書 p.6）

- ・事務所引っ越し関連の進捗状況の説明があった。2027 年度中に引越し予定。
- ・HP 上にデジタルパンフレットを掲載するための作業を開始。
- ・2026 年度の NPO 保険・火災保険の更新作業完了。

2.3 普及・啓発委員会（議案書 p.7）

- ・施設見学会は大分県内施設で、11 月 26 日(木)～27 日(金)を予定。候補施設の受入回答待ち。
見学会の概要を来週会員宛にメールする。
- ・2027 年度の総会・環境講演会は 6 月 24 日(木)、研究成果発表会は 6 月 25 日(金)、北とぴあペガサスホールで開催予定。

2.4 国際委員会（議案書 p.8）

- ・APLAS バンドン 2026 の進捗状況について説明があり、現在ビジネスセッションをつめている。
- ・次回、APLAS2028 はインド ムンバイにて開催予定。

2.5 事業活性化委員会

（1）資格認定専門委員会（議案書 p.9）

- ・機能検査試験は、日程は11月7日(土)～8日(日)、会場はこれまでから変更した。
- ・受験希望者の現在6人なので、各会員企業に対し、若手等へ受験を働きかけるよう依頼があった。

(2) 匠の会（議案書 p.10）

- ・第57回技術セミナーは、全国産業資源循環連合会の室石専務理事に11月頃講演依頼予定。
- ・日環センターの在り方検討会に出席した。

2.6 研究展開委員会

(1) 委員会活動（議案書 p.11～16）

- ・研究成果の対外発表（都市清掃391号掲載、廃棄物資源循環学会埋立部会2026春の研究討論会報告、第37回廃棄物資源循環学会研究発表会）実施状況の説明があった。
- ・次期の研究テーマ募集を準備中。テーマ提案票は前回募集時に改良（簡略化）していた。
- ・議案書 p.13 議題5.②：計画・設計・管理要領の改訂作業で、引用したLSA報告書は公開資料としておく必要がある。

(2) 脱炭素化時代における浸出水処理システムの課題とその対策の研究（議案書 p.17～19）

- ・熊本市扇田処分場、熊本県エコアくまもとの視察報告があった。

(3) 最終処分場における脱炭素化(土木)に関する研究分科会（議案書 p.20～22）

- ・図LSAの提案するカーボンオフセットシステム処分場に、バイオ炭、CCS（早稲田大学小峯先生）やCDR(Carbon Dioxide Removal・北海道大学佐藤先生)を追加されてはどうかとの意見があった。

(4) 処分場維持管理へのDX導入加速に関する研究（議案書 p.23～24）

- ・国環研石森先生とWEBアプリ説明会の事前打合せを行った。
- ・現在、WEBアプリはオープン型処分場10施設データ。CS型処分場データは未だ入っていない。
- ・WEBアプリの使用説明会および実体験実施は、10月6日実施予定。

(5) 最終処分場における未規制物質への対応に関する研究（議案書 p.25～26）

- ・副主査に平山氏を追加。メンバーの加入（平山氏、堀江氏、塩澤氏）があった。
- ・未規制物質は、PFAS以外も対象に入っている。
- ・環境省への提案などはされないのかとの質問があった。

(6) 遮水シート固定工に関する研究（議案書 p.27～28）

- ・小段置式固定工の現地調査を10月中（8日か28日）に実施予定。

(7) 最終処分場の計画から廃止に関する調査研究（議案書 p.29～30）

- ・キャッピング事例調査の準備を開始。

- ・ 近日中に日程調整をして、分科会を開催予定。

(8) アジア地域への日本の最終処分システム技術の情報発信に関する研究（議案書 p.31～32）

- ・ APLAS2026 へのアブストラクト投稿完了。フルペーパーの完成や現地での発表者の選定を行う。

2.7 事務局

- ・ 活動経費支出についての説明があった。
- ・ 委員会および分科会の名簿更新のお願いあった。メンバーの更新は各委員会や分科会で実施してほしい。メンバー数は、会議費の年間予算額となる。

3. その他

- ・ 2026 年度 第 3 回システム活性化部会の日程

日時：2026 年 12 月 8 日(火)・15：15 から 16：45

議事録署名人 大野 文良



議事録署名人 吉村 丈晴

